



5949

ユニプレス



専務執行役員 伊藤芳雄氏

セミナー内容

グローバルNo.1を目指す自動車用プレス部品メーカー

国内外の大手自動車メーカー向けに車体プレス製品・トランスミッション用製品・樹脂プレス製品などを製造。部品の設計、開発、試作から量産までを一貫して行い、車体の軽量化と高強度化を実現することで「クルマの進化」に貢献を続けている。

国内外の自動車メーカーへグローバルに製品を供給

事業の柱は自動車の骨格となる「車体プレス製品」で、売上高の約9割を占める。さらにエンジンからの動力をタイヤに伝える「トランスミッション用製品」、フロアアンダーカバーなどの軽量かつ空力特性に優れた「樹脂プレス製品」と自動車の性能を左右する多くの部品を製造。自動車用プレス部品メーカーとして、新型車の企画段階から自動車メーカーの設計プロセスに参画し、あらゆる角度からの技術提案を行っている。部品の設計、開発から量産対応まで、プレスに関わる全てを手掛ける総合力を強みとし、国内外の大手自動車メーカー向けにグローバルな展開を行っている。

自動車作りを支える世界トップレベルのプレス技術

近年、環境対応から車体の軽量化・燃費向上によるCO2削減が求められる一方、車体の高強度化による安全性向上が求められている。この相反する要求を満たすために、世界トップレベルのプレス技術で、成形加工が難しい高強度な鋼板であるハイテン材を加工し、あわせて車体構造の最適化を進めることにより、「軽量化」と「高強度(安全性)」の両立を実現。また、自動車メーカー・鉄鋼メーカーとの共同開発により、従来のハイテン材よりさらに強度が高い超ハイテン材を活用した車体骨格部品の量産化にも成功。「プレスを究めて、プレスを越える」の経営理念の下、独自のプレス技術で自動車産業の一翼を担っている。

成長する海外市場、さらなる拡販を目指す

ユニプレスは自動車メーカーの事業拡大をチャンスと捉え、積極的なグローバル化を推進してきた。その結果、2002年度まで3カ国3拠点だった海外生産拠点は、現在9カ国15拠点到まで拡充し、海外売上が約7割を占めるまでに成長。日本・米州・欧州・アジアの各拠点から世界のどこへでも、高品質の製品をタイムリーに供給すべく、今後も海外でのさらなる拡販を行っていく。

中期経営計画～重要な4つの課題と取り組み

究極のプレス技術を求め続ける経営理念の下、市場ニーズを先取りした「技術開発型企业」、競争力 No.1を維持する「コスト開発型企业」、自動車産業構造変化に対応した「グローバル戦略型企业」の3つを目指すべき企業の姿としている。2016～2018年度の中期経営計画では、2018年度に売上高3,300億円、営業利益250億円の目標を掲げ、①業界トップレベルの競争力 ②グローバル展開と生産基盤の強化 ③製品・素材・工法の革新 ④経営管理体制の強化という、4つの課題で目標達成に向けた活動に取り組んでいる。